

平成 28 年度障害者工賃向上支援事業予算の概要

1 事業概要

障害者就労支援事業所における障害者の工賃の向上を図るための具体的な方策等を定めた第 3 期工賃向上支援計画(計画期間:平成 27～29 年度)に基づく具体的な事業を実施する。

2 全体事業

平成 19 年度	支援計画策定
平成 20 年度～23 年度	第 1 期計画に基づく具体的施策実施、検証作業
平成 24 年度～26 年度	第 2 期計画に基づき具体的施策実施、検証作業
平成 27 年度～	新たな計画に基づき具体的施策実施

3 実施主体 県

4 事業内容(工賃向上支援計画に基づく取組みの推進)

(1) 意識向上・共有に向けた取組み(3,654 千円)

事業所における「経営力」を育成・強化するため、法人・職員の意識改革・啓発、リーダーシップの醸成を目的とした各種研修会を実施するとともに、自主製品の創出等に取り組む事業所に対して支援することで工賃向上に対する意欲の増大を図るもの。

- ① 工賃引上げ推進員養成・スキルアップ研修(752 千円)
- ② 自主製品創出研修(752 千円)
- ③ 工賃向上支援計画運営委員会(250 千円)
- ④ 障害者就労支援施設スウィーツコンテスト開催事業(1,900 千円)

(2) 売れる商品作りに向けた取組み(1,000 千円)

経営視点を導入し、工賃向上の実現性の高い工賃向上計画を作成するとともに、商品の品質向上、新商品の開発などを喚起する。

- ① 技術指導研修会(850 千円)
- ② 技術指導者派遣(150 千円)

(3) 営業・販売力の向上に向けた取組み(300 千円)

- ① 経営コンサルタント派遣(300 千円)
販路開拓等の運営面に関する助言・指導

(4) 地域との連携強化に向けた取組み(2,953 千円)

- ① 施設内就労から施設外就労への移行支援(1,000 千円)
企業への研修会、企業見学会
- ② 共同ネットワーク事業(1,953 千円)
事業所等・セルフ協における共同窓口設置

(5) 多様な就労の場の確保/施設外就労の活用(4,971 千円)

- ① 事業所を対象とした新分野チャレンジ研修会(771 千円)
- 新 ② とやま農福連携障害者支援マルシェ事業(4,200 千円)

(6) その他(地域創生人材育成事業)(5,795 千円)

- 新 障害者就労支援事業所とプロとのコラボによる人材育成事業(5,795 千円)

新 とやま農福連携障害者支援マルシェ事業

1 事業の目的

農業分野での障害者の就労を支援し、障害者の職域拡大や収入拡大を図るため、農業に取り組む障害者就労支援施設によるマルシェの開催、県産(食)材を利用した事業所の商品PR用のブックレット作成等の支援を実施する。

2 事業内容

① とやま農福連携マルシェの開催

農作物を生産する障害者就労支援事業所が集い、県産野菜等の販売会を開催し、生産事業所のグループ化及び直売所等への販売ルートの開拓により、農福連携マルシェのブランド化を図る。

(開催予定：年2回 7月及び11月)

② とやま農福連携『グッドジョブ・ブックレット』の作成

障害者就労支援事業所の注文販売のツールとして、県産(食)材を利用した事業所商品の情報、製作風景や事業所の取組みを盛り込んだブックレットを作成し、県イベントにおいて配布及び掲載商品の対面販売を実施する。

また、ブックレットは企業、公共施設等へも配布するとともに、掲載商品は委託先業者のHPにおいてオンライン販売を行う。

<ブックレットの内容>

- ① 事業所製品・提供サービスの紹介
- ② 注文票の添付(FAX、メール、電話による注文受付)
- ③ 事業所トピックスの掲載 など

<配布先> ※10,000部作成予定

イベント(福祉・農業関係)、企業、市町村、公共施設、学校 など

3 対象事業所

就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所

4 28年度予算額 4,200千円

新 障害者就労支援事業所とプロとのコラボによる人材育成事業
(地域創生人材育成事業)

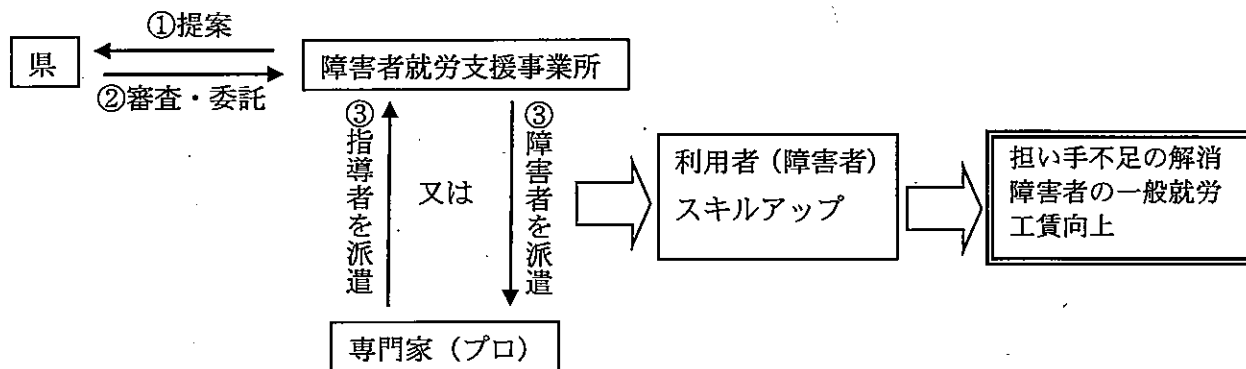
1 事業の目的

障害者が人材不足分野(※)の専門家(プロ)から一定期間の技術指導を受けることで、専門的なスキルや資格を身に着けることにより、人材が不足している産業の人材確保や障害者の一般就労を促進することを目的とする。(※)地場産業(木彫、銅器、和紙)、農業、介護サービスなど

2 事業内容

- ①実施期間 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで
- ②事業主体 富山県
- ③委託先 指定障害福祉サービス事業所の運営法人※プロポーザルで決定
- ④委託内容 障害者就労支援事業所と特定の産業の専門家等がタイアップし、事業所の利用者(障害者)が、専門的なスキル等を習得し、一般就労につながる環境づくりを行う。

(参考:事務の流れ)



⑤分野

分野	募集人数	指導者の条件
地場産業コース (菅、和紙、銅器等)	両コース合わせて 4名以内	地場産業に従事する職人やデザイナーであって、 従事経験を3年以上有する者
介護・農業コース		<介護>介護福祉士の資格を有し、介護経験を3 年以上有する者 <農業>農業法人の従事者等であって、農業経験 を3年以上有する者

⑥予算額 5,795 千円 (国 10/10 地域創生人材育成事業)

- ・委託料： 5,650 千円 (1,413 千円×4 事業所)
(1 事業者あたり) 報償費 3 千円/h×5 h×60 日=900 千円
旅費 2 千円×60 日=120 千円
事務費 288 千円
- ・事務費：プロポーザル審査会開催経費等 145 千円

⑦スケジュール(案)

- 4 月 募集開始 (~4/15)
※応募多数の場合、プロポーザルにより委託先を決定。
- 5 月 委託契約、事業開始